

今週（2月3日から2月7日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、日銀当座預金残高は、4日の税・保険料揚げ以降大幅に減少し、390兆円台前半での推移となった。積み期間後半に入ったことで、取り手の資金調達意欲が強く、試し取りの要因も加わったことで、レートは上昇した。週初3日は、短国・2年債発行日等の要因があったことから取り手の資金調達意欲が強く、月末要因でレートが下がった前週末より、上昇して始まった。その後は、4日に税・保険料揚げ、5日に10年債発行等の要因があったことから、レートがじりじりと上昇し、地銀業態中心に▲0.015%中心の出会いとなった。週末の7日も、3日積みであるため資金調達意欲が強まり、レートは高止まりとなった。ターム物に関しては、足許のレート上昇を受けて、ショートターム物で▲0.01%程度のビッドが見えたものの、オファーがほとんど入らず、散発的に、▲0.005～+0.01%の出会いが見られるのみであった。

固定金利方式による共通担保資金供給オペは7日に2W物・15,000億円がオファーされ、5,848億円（期落ち額6,998億円）と札割れとなった。

●レポ市場

今週のGC O/N物は、週を通してオファーが安定して入り、概ね▲0.100～▲0.045%程度での出会いとなった。

SC個別銘柄では、2Y402～409、5Y136～142、10Y336～357、20Y160～171、30Y59～65、40Y9～12などカレント近辺の銘柄にビッドの出入りが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、需給が改善する中、相対的に利回りの高い3M物では、▲0.150～▲0.140%でまとまった出会いが見られた。一方で、6M物や1Y物は動意なく閑散なマーケットとなった。

4日に実施された短国買入オペは、市場予想を若干上回る、前回と同額の7,500億円でオファーされた。平均落札利回較差+0.006%、按分落札利回較差+0.000%と、しっかりした結果となった。マーケットでは、3M物で▲0.1425～▲0.140%の出会いが見られた。

6日に実施された6M物の入札は、WI取引において▲0.135～▲0.130%で出合う中、平均落札利回▲0.1395%、按分落札利回▲0.1375%と、しっかりした結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットにおいては、▲0.160～▲0.155%出会いと堅調に推移した。

7日に実施された3M物の入札は、WI取引において▲0.137～▲0.132%で出合う中、平均落札利回▲0.1367%、按分落札利回▲0.1323%と、WI取引を反映してか、落ち着いた結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットにおいては、▲0.144%出会いと堅調に推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、一部の鉄鋼・卸売業態において大型発行があったものの、月初めということもあり、入札案件はさほど膨らまなかった。入札市場の週間発行・償還総額は共に6,000億円程度となった。市場残高は週を通して概ね22.5兆円と最高水準を維持しており、足許の発行状況を踏まえると3月末までは横ばいで推移すると見込まれる。発行レートは、引き続き0%近辺が中心となっている。一部の発行残高が少ない期越えの銘柄については強めの買いが見られ、大型発行が行われた銘柄では若干の上昇が散見された。なお、市場残高は高水準ではあるものの、3月末の償還額は既に2.5兆円程度まで積み上がっている。昨年の3月末償還額は3.5兆円であり、昨今の発行傾向を考慮すると昨年を大きく上回る可能性がある。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（%）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・%）	東京レポレート（翌日物・ T+1スタート・%）	日銀当座預金残高 （億円）
2/3（月）	22,971.94	△ 0.065	108.52	△ 0.033	△ 0.050	4,005,400
2/4（火）	23,084.59	△ 0.055	108.61	△ 0.023	△ 0.083	3,924,800
2/5（水）	23,319.56	△ 0.040	109.43	△ 0.015	△ 0.089	3,911,500
2/6（木）	23,873.59	△ 0.020	109.89	△ 0.016	△ 0.090	3,911,600
2/7（金）	23,827.98	△ 0.040	109.89	△ 0.014	△ 0.056	3,900,800

来週（2月10日から2月14日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
2/10（月）	12月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 12月の特定サービス産業動態統計速報(経済産業省 13:30) 1月の景気ウォッチャー調査(内閣府)				
2/11（火）	建国記念の日				10-12月期の英GDP速報値
2/12（水）	1月のマネーストック(日銀 8:50)	10Y物価連動 4,000億円 2/13発行			1月の米財政収支
2/13（木）	1月の企業物価指数(日銀 8:50)				1月の米消費者物価指数
2/14（金）	東京証券取引所主催セミナーにおいて雨宮副総裁講演 12月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30)	TB3M 44,400億円 2/17発行	流動性供給 6,000億円 2/17発行	国有林野借入 962億円 2/25借入	12月の米企業在庫 1月の米小売売上高 1月の米鉱工業生産・設備稼働率 2月のミシガン大消費者信頼感指数速報 10-12月期のユーロ圏GDP2次速報

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
2/10（月）	400	▲ 8,200	▲ 7,800	国債買入 全店共通 CP買入 ETF買入 国債補完	▲ 7,000 ▲ 100 100	11,800 5,800 800	11,400	3,600	TB3M発行▲44400償還43000 TB6M発行▲26000償還20000
2/11（火）	建国記念の日								
2/12（水）	1,000	▲ 1,000	0				0	0	
2/13（木）	0	▲ 8,000	▲ 8,000				0	▲ 8,000	源泉税揚げ 10Y物価連動発行▲4000 交付税借入▲10500期日10500
2/14（金）	0	74,000	74,000				0	74,000	年金定時払い
週 間 合 計	1,400	56,800	58,200	—	▲ 7,000	18,400	11,400	69,600	

2/10は日銀予想、2/12以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、14日に年金定時払い等の大幅な資金余剰要因がある。無担保コールO/N加重平均レートは高止まりが予想されるが、週末の14日は次の積み期間にかかることもあり、若干の低下も考えられる。レボ市場は、積み期間終盤となり、資金ニーズの動向が注目される。短国市場は、14日に3M物の入札が実施予定となっている。短国が増発傾向にある中、オペのオファー額を含めて市場動向が注目される。CP市場は、特段のイベントが無く、落ち着いた状況が続くと考えられる。

主要なイベントとしては、海外では11日に10-12月期の英GDP速報値、13日に1月の米消費者物価指数、14日に10-12月のユーロ圏GDP2次速報が予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされようようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入